学校番号	1205

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	（学）日本文化理解	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本語能力試験 N1 に向けての対策。
日本語の「読む」「書く」「話す」「聞く」の 4 技能を高め、実践面を重視した言語活動をする。
課題を見つけ、発表やスピーチ、プレゼンテーションを行い、日本語の表現力を高める。

2　学習の到達目標

a ：日本語能力試験 N1 程度の語彙・言語知識身につける。
b ：日本や世界の課題について考え、日本語で表現する力を高める。
c ：日本語の様々な文章に触れ、積極的に日本語で話し合いや意見交換を行うことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・プレゼンテーションやスピーチ、作文などの日本語を身につける。	・様々な文章を読むことを通して、日本や世界における課題について考え、発表したり、書いたりすることができる。 ・文章を要約したり、まとめたりすることができる。	・課題について興味関心を持って、積極的に学ぶことができる。 ・人と協力して、課題に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	読解・聴解	日本語能力試験対策 読解・聴解	a:様々な文章を読んで、文脈を読み取ることができ、文法や語彙などについても理解している。 b:接続詞などを理解し、文章の構成を考えることができる。 会話文を聞いて、場面を理解することができ、文脈を読み取ることができる。 c：対策問題や教材プリントに積極的に取組むことができる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物
	課題発表	日本語で表現する	a:自分の考えや気持ちを日本語で適切に表現することができる。 b:日本語の言葉の意味を理解し、伝えたいことを表現することができる。 c:積極的に日本語で表現しようとしている。	定期考査 小テスト	課題発表 定期考査	課題発表 提出物
2	読解・聴解	日本語能力試験対策	a:様々な文章を読んで、文脈を読み取ることができ、文法や語彙などについても理解している。 b:接続詞などを理解し、文章の構成を考えることができる。 会話文を聞いて、場面を理解することができ、文脈を読み取ることができる。 c：対策問題や教材プリントに積極的に取組むことができる。	定期考査 小テスト	提出物 定期考査	提出物
	課題発表	地域連携を考える 意見文を作成する	a:伝える相手を意識した日本語を考え、使うことができる。 b:文章構成を考えて、まとめたり、書いたりできる。 c:課題について、協力して取組むことができ、グループの意見をまとめることができる。	定期考査 小テスト	成果物 定期考査	成果物
3	課題発表	発表 スピーチ原稿	a:伝える相手を意識したスピーチ原稿を作成することができる。 日本語の発音などに気を付けて聞き取りやすいスピーチができる。 b:文章構成を考えて文章をまとめたり、書いたりすることができる。 c:課題について、グループの人と協力して取組むことができる。	定期考査 小テスト	発表 定期考査	発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度